

■ 吹田みらいキャンパスで 2025 年 4 月、新入生 350 人で始動 ■

ビジネスデータサイエンス学部設置が正式決定

～ DX 人材を育てる取り組みを発展させ、14 番目の学部誕生へ ～

このたび関西大学の 14 番目の学部となる「ビジネスデータサイエンス学部」の設置が正式に決定されました。新設の吹田みらいキャンパスにおいて、2025 年 4 月に文理総合学部として始動します。データが最重要資源と言われる社会において、データを通して社会をとらえ、ビジネス現場や社会に変化をもたらす「DX 人材」の育成を図ります。企業と連携したアクティブラーニングを重視し、実演習を通じて社会の課題を発掘し解決策をデザインする実践力を育てるユニークな学部として注目を集めています。

本件の ポイント

- ・ビジネスデータサイエンス学部の 2025 年 4 月設置が正式決定
- ・新設の吹田みらいキャンパスで新入生 350 人を迎えて始動へ
- ・文理の枠を超えて「DX 人材」育成を目指す

学部新設に伴い必要となる本学の収容定員増加についての手続きが 2024 年 8 月 28 日付で文部科学省から認可されるとともに、新学部新学科の届出申請が文部科学省より受理されました。入学定員は 350 人となります。これを受けて関西大学では新学部のホームページ (<http://www.kansai-u.ac.jp/BDS>) を大幅にリニューアル (9/3 予定) し、より多くの人に新しい学部の取り組みを知ってもらうべく活動を活発化させます。

新たな価値を創造する データサイエンティストを育成。

ビジネスにおいて、データサイエンスとイノベーションを結びつけ、新しい価値を創造する人材の育成をめざし、実践志向のデータサイエンス教育を展開します。
本学部の特徴は、ビジネスとデータサイエンスの両者を体系的に学び、実際の企業などの「生きたデータ」を用いて実践的なスキルを身に付け、考動力(自ら考え、行動する力)を高める教育にあります。新時代において、混沌を突破し、リードできる人材を育成します。



【前田裕学長の話】政府が主導する「AI 戦略」でも、数理・データサイエンス教育の導入の重要性が示されています。関西大学でも、人工知能やデータサイエンスの基礎を大学生の誰もが有する基本的なスキルととらえ、全学生を対象としたリテラシー教育として、科目を設置しています。ビジネスデータサイエンス学部は、これらの基礎教育に加え、実際のビジネスの場で必要とされる力も養い、目まぐるしく変化する社会に立ち向かえる人間を育成してまいります。

【鷲尾隆学部長(就任予定)の話】学部名に“ビジネス”という言葉がつくように、社会の課題に対してデータを活用し、解決できる力を身につけ、即戦力になる人材を育てたいと考えています。社会で活躍するにはデータを解析するだけではなく、他者と協働し、答えを導き出す力も欠かせません。これらを育むため、1 年次からアクティブラーニングを中心としたカリキュラムを用意しています。実践的なカリキュラムを通して、社会をけん引するような人材を生み出していきます。

◇ オンライン学部説明会

9 月 9 日 (月)、17 日 (火)、19 日 (木)、25 日 (水)、27 日 (金)

いずれも午後 6 時から 30 分間。

対象は中高生とその保護者、教育機関関係者、そのほか、学部に関心のある方
申込は次の URL から (<https://forms.office.com/r/hJrwXCazxa>)



この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：伊地知、小林、明原

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-1937 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp